

海外派遣留学プログラム月間報告書
(報告期間:2023/08/21 ~2023/08/31)

1. 留学のきっかけと準備

私はもともと国際交流に興味があり、2年生から SOJO Buddy に所属しています。2年の9月ごろに UTP から数名の留学生が崇城大学に来てくれました。この出会いが UTP への留学のきっかけになりました。そこから、国際交流センターの先生方と少しずつ準備が始まりました。交換留学先の大学はいくつかあり、選ぶことができますが、私は自分の専攻と生活費が安いという観点からマレーシアのペトロナス工科大学（UTP）を選びました。留学期間について、私は大学院進学を決めているので、ストレートで卒業することを考慮すると最大8ヶ月間の留学が可能です。また、留学条件として、TOEFL や IELTS のスコアが一定以上必要になります。私は、TOEFL の受験を決め、勉強していましたが、試験当日、通信障害により途中で通信が切れてしまい、最後まで受験することができませんでした。だから英語の試験をオンラインで受験する際は、有線の Wi-Fi を使用することをおすすめします。そして、正しいスコアが得られなかった私は、必要書類の提出期限まであまり時間もなく再受験が厳しかったため、SILC の先生に英語力証明書を書いてもらいました。その際に受験したのは Duolingo English test という試験です。個人的にはこの試験の方が TOEFL に比べ、対策がしやすく、試験問題も簡単でした。また、必要書類を提出した後は、UTP の人とメールのやり取りをして準備を進めました。手続きで不明な点がある場合は、遠慮することなく UTP の人に尋ねて良いと思います。すぐに返答が返ってきました。

2. 勉学面

大学の授業は9月からスタートなので8/21 から8/29 まで約10 日間は、他の日本人学生とサマープログラムに参加しました。このサマープログラムではパキスタンの学生と一緒に行動しました。1 日目はマレーシアのお菓子やフルーツを食べながらパキスタンの学生と交流を深めました。その後は英語の授業（写真1）を受けたり、ガメラン（写真4）というマレーシアの伝統的な楽器を使って演奏したり、ウォーターラフティングやホームステイをしてローカルの文化（写真2 と3）を体験したり、とても楽しい異文化交流ができました。



写真1 英語の授業の様子



写真2 ホームステイでローカル文化を体験



写真3 フィッシュカレー

これはローカルフードのフィッシュカレーといい、魚と野菜が入っています。味は美味しいですが、ものすごく辛かったです。個人的感想として、日本の辛口のカレーの5～10倍は辛いです。この辛さを和らげるために飲み物は甘いぶどう味のジュースが用意されていました。そのジュースはすごく甘かったです。

これはインドネシア発祥の伝統的な民族音楽の gamelan (ガメラン) の授業の様子です。好きな楽器を選んでみんなで曲を合奏しました。日本にもある太鼓や木琴、鉄琴のようなものの他に、鍋の蓋のような形の楽器がありました。授業といっても自由な時間が多く、すべての楽器を体験することができました。



写真4 ガメランの授業の様子

3. 生活面

授業やアクティビティの後は、毎晩のように現地の人やパキスタンの学生と一緒にマレー料理を食べていました（写真6）。マレー料理にはとても辛いものがあります。辛いものが苦手な方は注文する前に辛いかどうかを尋ねた方がいいと思います。また、日本では馴染みのないソースや調味料がたくさんあり、新しい食の発見を楽しめます。また、マレー料理が苦手な方でもマレーシアには中華料理店もたくさんあり、それは日本の中華料理（写真7）と大差ないので食に関して口に合うものがないのではないかと心配する必要はないと思います。



写真 5-1 ナイトマーケットの焼き鳥



写真 5-2 ナイトマーケットのナシレマ

これらは初日に行ったナイトマーケットの屋台の食べ物です。焼き鳥はすごく美味しかったです。ナシレマはソースの味が苦手でした。また、大きなチキンがそのまま乗っていて、フォークとスプーンで食べるのは至難の業です。また、テーブルナイフは近くのスーパーには売っていませんでした。もし必要な方は、日本から持っていくといいと思います。



写真 6 現地の友達とご飯



写真 7 中華料理



写真 8 バスケットボール

UTP の中にはこのようなバスケットボールコートがあります。誰でも 24 時間使用できるのでご飯の後にみんなでバスケットボールをしました。コートはとても綺麗で照明設備も整っています。

マレーシアの食事に関して食中毒や病気には要注意です！実際に、私は到着してすぐにサルモネラ菌に感染し、体調を崩しました。完治するのに1週間ほどかかりました。原因は、トムヤムクン（写真9）というスープヌードルの上に乗っていた生卵だと考えられます。マレーシアなどの東南アジアでは生のものは食べない方が良いでしょう。もし料理に生のものが乗っていたら、食べる前に取り除くか熱いものの下に移動して少し熱を通すと良いと現地の友達に聞きました。



写真9 感染源と思われるトムヤムクン

衛生面でもう一つ注意すべきことは、トイレです。まずほとんどのトイレにトイレットペーパーは設置されていません。だから、外出の際は、水に流せるティッシュを持ち歩かなければなりません。また、トイレはかなり不衛生なので使用前に除菌をしたり、使用後は石鹸での手洗いが必須です。

生活必需品は大学に近くにある Lotus's と MR.DIY というお店でほとんど揃います。近くといっても2kmほどあり、かつ、マレーシアには歩道がないので、移動は基本的に車を使います。Grab というタクシーを使ったり、車を持っている友達にらせてもらいます。また、マレーシアには日本のイオンがあるのでそこでは日本の食材や調味料を購入することができます。イオンまでは毎週末、UTP から4本ほど無料のシャトルバスが出ているのでそれを利用するのがおすすめです。物価に関しては、日本の1/3なのでそこまで生活費はかかりません。寮費を除いて3万円/月もあれば遊びに行ったり自由に生活ができます。